

小松川第二中学校応援団実践報告書

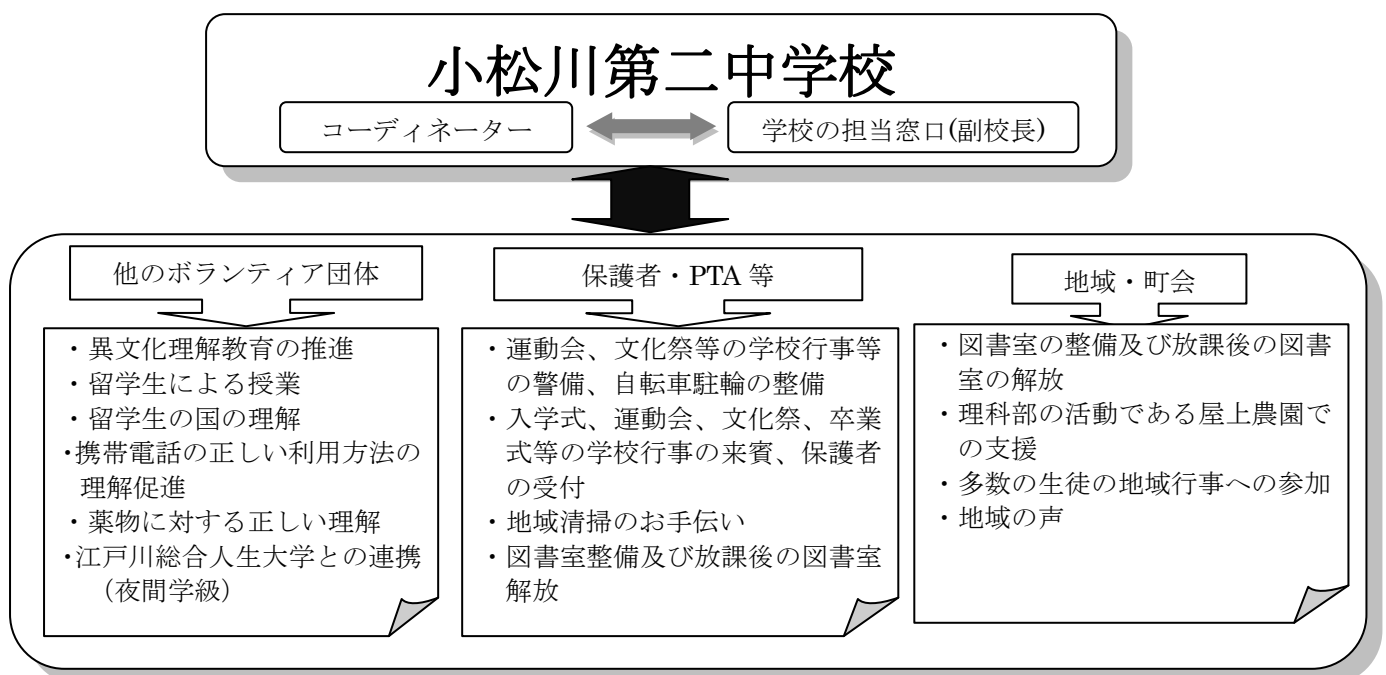
1 校長及びコーディネーター氏名

小松川第二中学校 統括校長 志村 文穂
 代表・コーディネーター 青少年委員 村上 則俊 (元小松川第二中学校PTA会長)

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	運動会、文化祭のパトロール、 自転車駐輪整理 夏季パトロール	○運動会、文化祭の安全の見守り ○自転車の駐輪についての整理・整頓 ○夏季休業中の地域の生徒の見守り
読書活動	図書室の整備 図書室の放課後解放	○図書室の本の整理・整頓 ○放課後の図書室を開放することにより、生徒の読書活動の活性化を図る。
学習支援	情報リテラシー教育 異文化理解教育 薬物の危険性への理解	○情報機器の正しい利用法と危険性の理解 ○留学生に方々による授業 ○留学生に方々による出身の国の学習とその理解 ○薬物使用による危険性の理解 ○薬物乱用の防止への理解と実践
部活動支援	理科部の活動の支援	○屋上農園の整備 ○農園の整備に伴う指導・助言
連携協力支援	江戸川区総合人生大学との交流活動（夜間学級）	○授業参観 ○文化祭協力

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

【成果】

昨年度と同様、本校での「学校応援団」の活動の捉え方は、生徒の活動に伴うすべての保護者・地域の方々・ボランティア団体の方々の支援であると考えております。したがって、従来行ってきましたPTAの活動の他に、保護者及び地域の方々の読書活動への支援、地域の方々の理科部の生徒の屋上農園の活動への支援、ボランティア団体の方々の福祉体験活動支援、異文化理解のための留学生の方々への支援、熱中症防止のための講演会、江戸川総合人生大学との交流等、様々な活動を「学校応援団」活動として捉えております。生徒にとっては、保護者・地域の方々、ボランティアの方々に直接関わることにより、生徒からも学校・地域の一員であるという感想を発表する場面もあり、帰属意識の高揚等の成果につながっております。また、日々の学校生活の中でも、保護者・地域の方々へ元気な挨拶にもほとんどの保護者から良い評価を得ており、成果となって表れています。さらに、学校全体でも保護者・地域の方々・ボランティアの方々等、外部の教育力を積極的に取り入れることにより、今後の学校力の向上につなげてまいりたいと考えております。

また、本校の生徒が地域の取り組みに参加する場面も多々あります。青少年育成小松川地区委員会主催の「自転車盗ゼロ作戦」、や「小松川平井地区総合防災訓練」、さらに「小松川平井マラソン大会」等には多くの生徒たちが参加しており、時には運営のお手伝いをさせていただいております。これらの取り組みは、学校・保護者・地域が一体となって学校だけでなく様々な場面で子ども達を育てていくという視点に立った、素晴らしい取り組みと受け止めております。

【課題】

保護者・地域の方々及びボランティアの方々の献身的な支援による活動がほとんどで、学校としては深く感謝しております。生徒の一人一人の健やかな成長の他に何か恩返しできる取り組みをしていかなければならないと考えております。今後は様々な取り組みの中で支援をしていただく方々に、あまり負担にならないようなシステムづくりが必要であり、そのための人材確保が一番の課題であると考えています。

5 学校応援団コーディネーター 村上 則俊より

学校応援団の代表兼コーディネーターとして、校長先生をはじめ、様々な先生方・保護者・地域の方々にご協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。この2年間で小松川第二中学校「学校応援団」の取り組みも軌道に乗り始めてきたと感じております。ただ、人材の確保等、課題も多々あり今後も様々な方々にご協力いただく場面もあると思います。これからも子供たちの輝く笑顔のためにご協力いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

6 小松川第二中学校 統括校長 志村 文穂より

本校では、昨年度から小松川第二中学校「学校応援団」の取り組みを行ってきましたが、上記のように成果もありましたが課題もありました。ただ、生徒一人一人を学校・家庭・地域が一体となって育てることを第一に、今年までの2年間の取り組みを礎にさらに今後の「学校応援団」の取り組みを活性化していきたいと考えております。今後も保護者・地域の方々・ボランティアの方々にご協力していただく場面が多々あると思いますが、変わらぬご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。